

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)小嶺江藤病院増改築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)		
スコアシート 実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						2.6	
Q1 室内環境			0.39		-	2.4	
1 音環境		1.8	0.15	2.2	1.00	1.8	
1.1 騒音	【住居部】病室(寝室): 40dB(A)	3.0	0.40	4.0	0.40		
1.2 遮音		1.0	0.40	1.0	0.40		
1 開口部遮音性能		1.0	0.42	1.0	0.30		
2 界壁遮音性能		1.0	0.58	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境		1.8	0.35	1.9	1.00	1.8	
2.1 室温制御		2.3	0.50	2.4	0.50		
1 室温		2.0	0.38	2.0	0.57		
2 外皮性能		2.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		2.0	0.20	2.0	0.20		
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境		2.5	0.25	3.3	1.00	2.5	
3.1 昼光利用		2.4	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率	【住居部】病室401: 2.34%	2.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.5	
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質	建築基準法を満たす+ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策		-	-	-	-		
4.2 換気		2.0	0.30	2.3	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-		
2 喫煙の制御	【共用部】6階に喫煙室の設置+全館禁煙	5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.9	
1 機能性		2.5	0.40	3.0	1.00	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性		-	-	3.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観	【住居部】病室天井高: 2.7m	-	-	5.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	③⑤⑥⑧⑩⑪	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務		-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-		
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		

	2.4 信頼性			3.4	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備	①②⑤ ①②④	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.3	0.30	2.7	1.00	3.3	
	3.1 空間のゆとり		【共用部】2階フロア:0.16 構造部材だけでなく、仕上り材を痛めることなく更新・修繕ができる 仕上り材を痛めることなく更新・修繕ができる 縦のルート:EPS・PS フロア横引き:天井内	3.4	0.30	2.4	0.50	
	1	階高のゆとり		3.0	0.60	2.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		4.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.31	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m :0.68	4.0	0.18	-	4.0	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.87 住宅(専有部) -	4.0	0.51	-	4.0	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m :0.87	4.0	1.00	-		
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-		
	4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-		
	集合住宅の評価			-	-	-		
	4.1	モニタリング		-	-	-		
	4.2	運用管理体制		-	-	-		
	LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
	1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
	1.1	節水	水栓に固定コマ+過半数以上に節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	再生水の利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4	
	2.1 材料使用量の削減		- 再生クラッシャーラン	3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		全てノンフロン	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			高効率設備、LED照明の採用	3.4	0.33	-	3.4	
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9	
	2.1 大気汚染防止		I 1) II 1) II 3)	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	3	交通負荷抑制		4.0	0.33	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす	3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-		